

# 桐蔭横浜大学 vs 東洋大学

9月11日(水)  
13:50K.O.  
三ツ沢

0-2からの逆転で順大を破った桐蔭大。  
「勝ててよかった」  
と、八城修監督もほっと胸をなでおろした。  
これで順位を3位まで上げて、インカレ出場争いも優位に立った。  
「崩しの部分で自分たちの形ができていた。攻撃面ではいいプレーが多かった」(八城監督)  
8月下旬からの攻撃陣の好調は持続中だが、「開始直後のCKで失点してしまい、さらに一番頑張らなければいけない時間帯に2失点目を喫してしまった」(八城監督)  
というように、守備面では多少の課題が残ったのも事実だ。1点を争う厳しい試合が続くだけに、いかに失点を減らしていくかが今後のポイントになるだけに、しっかりと守りたい。  
流経大に0-1の敗戦を喫し、最下位に転落してしまった東洋大。試合内容は決して悪くなかったが決めるところで決めきれず、逆に後半32分に失点して0-1の敗戦。  
「前半戦はなかなか思うように自分たちがボールを保持できなかった。だから後半戦はもっとポゼッションしよ

うと、夏場にトレーニングを積んできた」(古川毅監督)  
ただ、それが随所に出たかといえ、まだまだ時間が短かったのも事実。ポゼッションする時間を長くし、かつ決定機をしっかりと決めていきたいところだ。  
「失点は一瞬のスキでやられている。危ないという雰囲気がない中でやられてしまった。その点は修正が必要」(古川監督)  
ディフェンス面で辛抱できるかがカギだ。  
**警告3回：藤井悠太、馬渡和彰(以上東洋大)**  
**昨年の対戦：前期/桐蔭大2-0東洋大、後期/桐蔭大3-2東洋大**

桐蔭大				東洋大			
33. 田内	11. 山根	11. 黒須	7. 馬渡	4. 古澤	7. 平山	10. 桑田	5. 藤井
1. 島崎	6. 福島	20. 今関	18. 小山	15. 齊藤	1. 浅沼	9. 大泉	6. 石川
3. 香西			9. 三田		16. 筑井		
2. 井上	8. 山崎				14. 平石		

# 日本体育大学 vs 筑波大学

9月11日(水)  
13:50K.O.  
保土ヶ谷

明大とのゲームを0-0で終えた日体大。試合内容を振り返れば、勝点2を落とすともいえるだろう。  
「0点に抑えられたのはよかった」(倉又寿雄監督)  
というように、しっかりと守備は後半戦も継続して実行されている。半面、「フィニッシュの精度というのは前半戦からの課題。しっかりと決められるようにしていかないと、勝点を積み上げていくのは難しいと思う」(倉又監督)  
いかに点を取っていくのがポイントだ。  
決定的なチャンスの回数はそれほど多くはなかったが、明大を上回る攻撃を見せていただけに、自信を失わずに戦いたい。  
「今月、筑波大と2試合ある。この筑波大戦が一つのポイントになると思うので、しっかりとやりたい」(倉又監督)  
天皇杯2回戦の関係で、筑波大は前節の試合は未消化。その天皇杯2回戦は柏レイソルと対戦し、2-4で敗れた。  
試合開始直後から小気味いいパス回しで柏レイソルを苦しめた。1点をリードされた17分には同点に追いつきスタジアムを湧かせた。その後、3失点してしまった

が、終盤には赤崎秀平(4年)が決めて追いついた。  
攻撃面はJ1のチームが相手でも十分に通用することを証明したが、一方で守備では課題も残った。4失点のうち2失点はセットプレーからのものだっただけに、十分に修正しなければならない。  
また、サイドからの攻撃で失点し、そのほかにも危ない場面を作られただけに、サイドのケアももう一度確認が必要だろう。  
**警告3回：宮内啓汰(日体大)、谷口彰悟(筑波大)**  
**昨年の対戦：前期/日体大2-1筑波大、後期/日体大2-0筑波大**

日体大				筑波大			
5. 中西	15. 阿部	11. 中野	18. 早川	3. 広瀬	14. 長谷川	19. 若杉	17. 西村
	17. 小城		3. 谷口	1. 畠中			1. 神倉
	10. 稲垣		7. 葺本	4. 菊地	11. 北脇	9. 赤崎	5. 車屋
24. 横野	7. 梅村	13. 曾山	12. 三丸				

※布陣は前節のメンバーを参考にした予想

# JR東日本カップ 2013 第87回 関東大学サッカーリーグ戦



# OFFICIAL MATCHDAY PROGRAM

VOL.25-NO.11 Division1



編集：加茂郁実 発行：関東大学サッカー連盟 協力：関東大学サッカーサポーターズクラブ

## 首位決戦は専大が制する！

後半戦がスタートした「JR東日本カップ 2013 第87回 関東大学サッカーリーグ戦」。前節は天皇杯の関係で延期になった筑波大 vs 慶大を除く5試合が行われた。  
注目目は1位・専大と2位・早大の直接対決。専大が前半24分に仲川輝人(3年)のゴールで先制点を奪うと、後半17分には早大の石川拓(4年)が同点ゴール。しかし、攻撃力で上回る専大が後半20分に2点目を奪って、試合はそのまま終了。専大が早大との勝点差を5ポイントに広げた。  
桐蔭大と順大の一戦は打ち合いとなった。開始1分にオウンゴールから先制点を挙げたのは順大。その後、18分に追加点を奪って試合を優位に進めた。しかし、夏場の戦いで自信をつけた桐蔭大の追い上げははずごかった。38分、40分と前半のうちに同点に追いつくと、後半30分には逆転ゴール。桐蔭大が底力を発揮し、順位も3位上げた。一方の順大だが後半のシュート数はわずか1本と、押されっぱなしに終わってしまった。  
日体大と明大の一戦は緊迫した内容。両者チャンスを作りながら相手の好守もあってゴールを奪えず、0-0のスコアレスドローに終わった。  
中大と国士大の一戦は前半27分に中大が先制点を奪ったが、残留に必死な

### 得点ランキング

仲川 輝人(専大)	9点
長澤 和輝(専大)	8点
坪井 秀斗(桐蔭大)	5点
武藤 嘉紀(慶大)	5点
山根 視来(桐蔭大)	5点

### アシストランキング

稲葉 圭吾(専大)	3アシスト
北爪 健吾(専大)	3アシスト
長澤 和輝(専大)	3アシスト
仲川 輝人(専大)	3アシスト

国士大も31分に同点弾。後半は中大が押し気味に試合を進めていたがシュートを決めきれず、アディショナルタイム3分に国士大が値千金のゴールを決めて2-1で中大を下し、最下位から脱出した。  
総理大臣杯を制した流経大と、残留争いの渦中にある東洋大の一戦は一進一退の攻防だったが、後半32分に流経大が1点を奪って1-0で東洋大を下した。東洋大は最下位に転落。  
今節を終えると11試合消化、ちょうど折り返しとなる。専大の首位での折り返しは決定しているが、そのほかのチームは!?

# JR東日本カップ 2013 [第87回] 関東大学サッカーリーグ戦 星取表

第10節、慶大 vs 筑波大が延期のため暫定順位 日程未定

順位	チーム名	専大	早大	桐蔭大	日体大	中大	明大	流経大	慶大	筑波大	順大	国士大	東洋大	試合数	勝数	敗数	得点	失点	得失差	勝点	
1	専大	201	602	1△1	502	9月11日	2●3	601	201	201	201	301		10	8	1	31	14	17	25	
2	早大	1●2		1△1	1△1	9月11日	201	300	201	100	0●1	201	100	10	6	2	2	14	8	6	20
3	桐蔭大	2●6	1△1		100	1△1	2●3	301	201	0●1	302	100	9月11日	10	5	2	3	16	16	0	17
4	日体大	1△1	1△1	0●1		100	0△0	200	1●2	9月11日	1△1	100	301	10	4	4	2	11	7	4	16
5	中大	2●5	味フィ西	1△1	0●1		301	0△0	100	200	200	1●2	1△1	10	4	3	3	13	11	2	15
6	明大	味フィ西	1●2	302	0△0	1●3		0△0	2△2	0△0	401	201	0●1	10	3	4	3	13	12	1	13
7	流経大	302	0●3	1●3	0●2	0△0	0△0		301	1△1	0△0	9月11日	100	10	3	4	3	9	12	-3	13
8	慶大	1●6	1●2	1●2	201	0●1	2△2	1●3		未定	9月11日	302	201	9	3	1	5	13	20	-7	10
9	筑波大	1●2	0●1	100	保土ヶ谷	0●2	0△0	1△1	未定		301	1●2	5△5	9	2	3	4	12	14	-2	9
10	順大	1●2	100	2●3	1△1	0●2	1●4	0△0	江戸陸	1●3		500	2△2	10	2	3	5	14	17	-3	9
11	国士大	1●2	102	0●1	0●1	201	1●2	江戸陸	2●3	201	0●5		201	10	3	0	7	11	19	-8	9
12	東洋大	1●3	0●1	三ツ沢	1●3	1△1	100	0●1	1●2	5△5	2△2	1●2		10	1	3	6	13	20	-7	6

体育会学生のための

## リクナビ就職エージェント

勇気は、努力がつかってくる。

部活と就活にエールを送る！体育会学生のための「リクナビ就職エージェント」  
http://job.rikunabi.com/agent/athlete/info02/

# 慶應義塾大学 vs 順天堂大学

9月11日(水)  
11:30K.O.  
江戸陸

前半戦の反省から、リーグ戦の中断期間中はとにかく走りまくったという慶大。後半戦初戦となるこのゲームの2日前にはジェフ千葉と練習試合もこなし、1-1の引き分けに持ち込むなど成長した姿を見せた。

「ほかのチームは技術もあるし強い。ウチはとにかく相手に走り負けないこと。それをベースに今まで目指してきた攻撃的なサッカー、ボールを保持して作り上げゴールを目指すというサッカーをしたい」(須田芳正監督)

1、2年生を多く起用しており、一戦一戦、成長していく楽しみもある。前半戦に比べて、守備に安定感が出てきたのもプラス材料だ。

「総理大臣杯で人につけなかったのが、総理大臣杯が終わってから守備の練習に時間をかけた」(須田監督)

前半戦とは違ったチーム力を発揮しそうだ。桐蔭大との一戦で一時は2点をリードしながらその後3失点し、逆転負けを喫してしまった順大。

「最初の20分間はウチが今できるベストなサッカーだった」(吉村雅文監督)

というように立ち上がりは見事なサッカーを見せたが、それが続かなかった。

「1点を取られておどおどしてしまった。90分間をど

う戦っていくかということが、まったく見えなかった」(吉村監督)

いかに90分間を通し、自分たちのサッカーを披露していくかがこれから重要になってくる。

「まだまだ12試合あり、その12試合で向上していくことが大切。チームとして少しでもいい状態にしていけるように、選手と一緒に考えてトレーニングしていきたい」(吉村監督)

警告3回：松下純土、溝渕雄志(以上慶大)  
昨年の対戦：前期/慶大3-2順大、後期/慶大3-3順大

慶大		順大	
23. 豊川	24. 山田	8. 天野	16. 吉永
4. 保田	10. 武藤	20. 山崎	4. 谷奥
8. 松下			
12. 福本		10. 井村	15. 青木
32. 小坂		1. 川口	
22. 久保	20. 端山	11. 原田	5. 新井
3. 飯高	19. 溝渕	6. 岡崎	12. 友澤

# 早稲田大学 vs 中央大学

9月11日(水)  
11:30K.O.  
味フィ西

専大との直接対決をケガ人の影響もあり、1-2で落としてしまった早大。勝点差は5ポイントまで開いてしまっただけに、残り12試合あるとはいえ正念場だ。

前節の試合は決して悪くなかった。早大の持ち味である堅守と切り替えの速さを随所に発揮していたが、「前半は相手の質の高さに腰が引けてしまった部分があり、プレッシャーをかけきれないところがあった」(古賀聡監督)

やや慎重になりすぎてしまい、かつ、その時間帯で失点してしまったのが最後まで響いてしまった。

「優勝するという目標に変わりはない。後半戦のリーグで1位になることが最低条件。一戦一戦、絶対に負けられない戦いになるが、まずは中大戦でしっかりと勝点3を取りたい」(古賀監督)

アディショナルタイムに失点し、勝点1がスルリと手からこぼれ落ちてしまった中大。前節の国士大戦は試合を優位に進めた時間帯があったが、まさかの幕切れとなってしまった。

「前半は風下の中で、相手がアグレッシブにきたことに対して少しひるんでしまった」(白須真介監督)

風上に立った後半はしっかりと修正して試合を優位に

進めたが、そこで追加点を奪えなかったのがすべて。「90分間通して目指すサッカーはできていないので、そこを修正しなければいけない」(白須監督)

互いに負けられないゲームとなる今節だが、「相手は徹底的な守備からスピーディーな攻撃を仕掛けてくるチーム。その管理をしっかりやることと、今回は悪い時間帯に失点してしまったので、気持ちを修正しないとやられてしまうので気をつけたい」(白須監督)

警告3回：細見諒(中大)  
昨年の対戦：前期/早大1-2中大、後期/早大0-2中大

早大		中大	
6. 三竿	24. 竹谷	7. 砂川	2. 古賀
3. 金沢	10. 榎本		12. 小出
5. 池西			4. 細見
1. 松澤		19. 皆川	25. 渋谷
4. 中田			8. 田辺
2. 奥山	25. 宮本		5. 木村
12. 八角	18. 小松	10. 澤田	6. 高瀬

# 流通経済大学 vs 国士舘大学

9月11日(水)  
13:50K.O.  
江戸陸

8月に行われた総理大臣杯で優勝した流経大。後半戦、どういった戦いをするのか注目が集まった半面、総理大臣杯後にやや調子を落としていただけに心配の声もあった。いざフタを開けてみれば決して内容はよくなく、東洋大に押されて苦しい時間帯もあった。しかし、そういった試合をしっかりと勝ちきれるのが今の流経大の強さといえる。

「積極的にボールを奪いにいくところからウチは始まる」(中野雄二監督)

そのボールの取りどころがやや低かったのは反省点だが、粘り強い守備が攻撃にもいいリズムをもたらしていたのは確かだ。

ただ、総理大臣杯のときのような迫力はまだ戻っていない。後半戦、台風の日になるためには、もうワンランクアップが必要だ。

前半戦を最下位で折り返した国士大。負けられない試合が続くが、後半戦の開幕戦は中大を2-1で下し、うれしい勝点3をゲットした。しかも、決勝点はアディショナルタイムでのもの。この勝ち方はチームを勢いづけるはずだ。

「選手たちの喜ぶ姿を見てうれしかった。あきらめずに

戦って勝点3を取ることができてよかった」(細田三二監督)

前半戦は接戦をものにできなかったが、「一生懸命ボールを奪いにいけたことと、大きな展開でサイド攻撃ができたことはよかった」(細田監督)

というように、粘り強さやダイナミックなプレーが出てきたのは明るい材料だ。ただし、ゲーム全体は押されるシーンが多かっただけに、「精度を高め、積極的にできるかが重要」(細田監督)

昨年の対戦：前期/流経大1-2国士大、後期/流経大1-2国士大

流経大		国士大	
2. 湯澤	14. 西谷	26. 佐々木	2. 石川
15. 真辺	27. 藤山	16. 平松	5. 中井
25. 古波津		7. 橋本	
1. 八巻			1. 小澤
24. 吉村		3. 吉田	
5. 川崎	18. 田上	10. 新村	4. 今瀬
28. 藤原	23. 森保	14. 進藤	22. 藤崎

# 専修大学 vs 明治大学

9月11日(水)  
13:50K.O.  
味フィ西

前半戦を首位で折り返した専大。後半戦の初戦は早大との首位決戦だったが、苦しい試合ながらも2-1で勝利を収めた。

「守備は頑張れるようになった。昨年や一昨年と同じようにやるのは難しいが、前半戦のように粘り強くやるのが特徴になってくると思う」(源平貴久監督)

早大が誇る鉄壁の守備陣の前に苦しい時間帯が続き、チャンスも決めきれないなど修正点も残ったが、課題だった守備の部分で改善が見られたのは大きい。

大事な一戦に対し、長澤和輝(4年)不在で勝ちきれたというのも光明だ。

「ただ、交代の選手が活躍できなかった。ケガ人や累積警告などが今後あると思うので、サブの選手の層を上げていくしかない」(源平監督)

明大との一戦に向けては、「後半戦に強い。今の状況では相手が有利。あっさり負けられないように粘り強くやりたい」(源平監督)

後半戦に強い明大だが、スタートとなる前節は日体大に0-0のドロー。

「内容がよくなかった。そこをもう一度真摯に受け止め、試合に向けて必死に準備するだけ」(神川明彦監督)

相手に攻め込まれるシーンもあったが、そこは守備陣が奮闘。何とか無失点に抑えることができた。

「0点に抑えられたことはよかった」(神川監督)ただ、準優勝だった総理大臣杯で見たようなアグレッシブな攻撃、ボールポゼッションは見られなかっただけに、もう一度、自分たちのサッカーを取り戻したい。

「後半は特に相手のほうが上回っていた。レベルがまだまだ低い」(神川監督)

ここからの巻き返しはなるか!?  
昨年の対戦：前期/専大6-3明大、後期/専大1-2明大

専大		明大	
12. 小口	11. 前澤	7. 梅内	5. 小川
6. 河津		8. 和泉	3. 山越
8. 下田		17. 工藤	
1. 福島	13. 北出	23. 佐野	1. 三浦
14. 星野			16. 差波
3. 萩間		22. 藤本	4. 小出
2. 北爪	10. 仲川	10. 矢田	15. 高橋

※布陣は前節のメンバーを参考にした予想